

ニューレット

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ニューレット
タンクレス式



安全上のご注意	1
各部のなまえ	3
ご使用前の確認と注意	3
ご使用方法	3
使用上のご注意	4
お手入れ方法	5
ストレーナー (フィルター)の清掃方法	6
凍結防止について	6
故障かな?と思ったら	8
仕様	8
保証書	10
アフターサービスについて	裏表紙

- 保証書には「販売店又は取付店」「据付け引渡し日」などの記入がされているか、必ず確認してください。
- 施工説明書を施工業者から受け取られた後は、本書と同様に大切に保管してください。
- この製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
- 転居される場合は新しく入居される方が製品を安全に使用するために、本取扱説明書および施工説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。
- 電気や水を使用する便座やヒーター、水抜栓、水道凍結防止帯など市販品または別売り品をご使用になる場合には、該当製品に同梱されている取扱説明書や施工説明書をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

■ 安全上のご注意 (必ずお守りください)

この安全上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。

—— 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。 ——

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警 告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注 意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の図記号で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。
左図は「分解禁止」を示します。



必ず実行していただく「強制」の内容です。
左図は「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※寒冷地用コントロールボックスの場合



警 告



禁 止

寒冷地仕様のコントロールボックス (WB103H) へは定格電源 交流 100V (50Hz / 60Hz) 以外は使用しない

交流 200V、船舶などの電源を使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

寒冷地仕様のコントロールボックス (WB103H) は凍結のおそれなくなったら、差し込みプラグを抜く

ヒーターの温度が上がり、火災の原因になります。



水場での
使用禁止

水がかかったり、製品表面に結露が生じるような浴室などでは絶対に使用しない

湿気のため故障、感電、漏電の原因になります。



禁 止

電源コードを無理な力（曲げ・折れ・ねじれ・引っ張り）を加える、傷つける、ステップルで固定する、束ねる、重いものを乗せる、挟み込むなどしない



禁 止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁 止

電源プラグ、電気製品に水や汚水、洗剤等をかけない

火災や感電、電気部品の腐食原因になります。



水ぬれ
禁 止

ぬれ手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



禁 止

雷が発生しているときは、電源プラグやコンセントにさわらない

感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグの抜き差しは必ず電源プラグ本体を持って行う

電源コードを引っばると感電やショート・発火による火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグは交流 100V を使用し、コンセントにがたつきの無いことを確認し、根元まで充分に差し込む

交流 200V や直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。

コンセントががたついていると火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグのホコリは定期的に取りのぞく

ほこりと湿気で極間が短絡し、トラッキングによる火災の原因になります。

乾いた布で拭き取ってください。



禁 止

製品の分解や改造は絶対に行わない (電気製品)

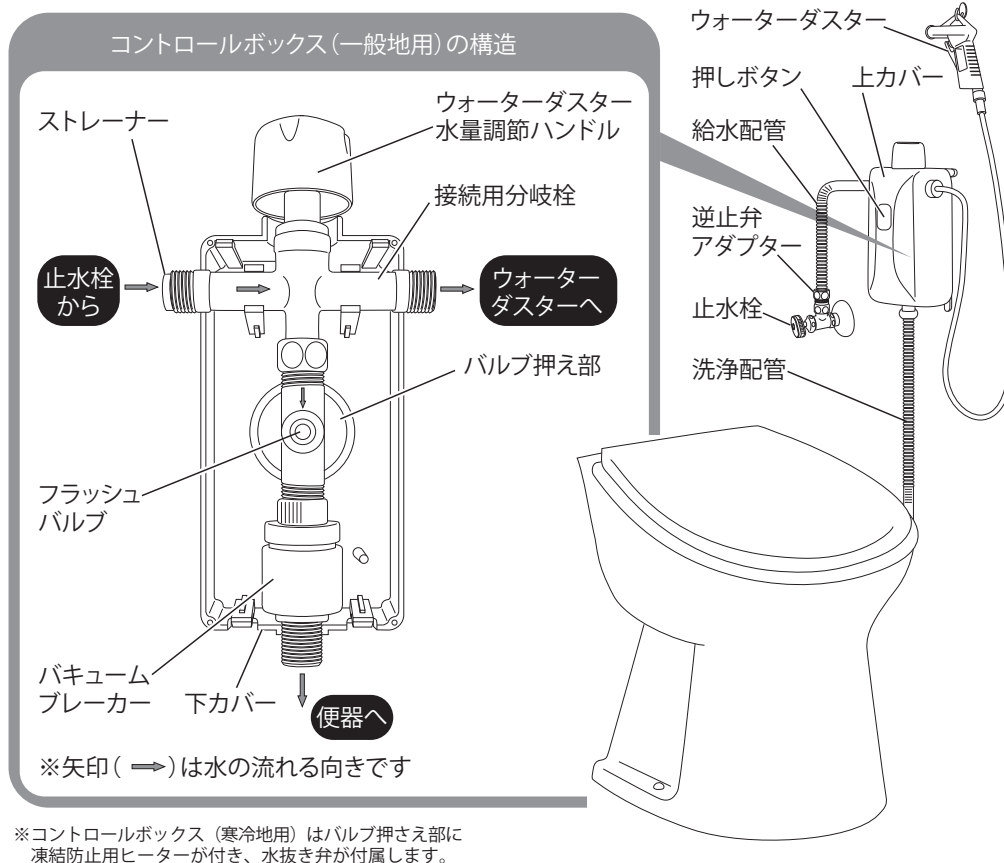
製品が破損しけがをしたり、火災の原因、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。

⚠ 注意

火気禁止 便器やコントロールボックス付近に、たばこなどの火気類を近づけない 火災や漏水の原因になります。	禁止 便器には汚物、トイレットペーパー以外の物を流したり、一度に大量のトイレットペーパー流したりしない 便槽への配管が詰まり、汚水があふれて、家財などをぬらす原因になることがあります。
禁止 製品に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。	禁止 製品に熱湯を注がない 樹脂部品が変形して故障の原因になることがあります。 陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。
禁止 便ふたや便座の上に乗ったり、寄りかかるなど、無理な力や衝撃を加えない 破損して、ケガをするおそれや、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。	必ず実行 ウォーターダスターの元栓は使用後は必ず閉める ウォーターダスターが破損した場合に漏水のため、家財などを汚す原因になることがあります。
禁止 陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部を素手で絶対にさわらない、使用しない 破損部でケガをするおそれがあります。	禁止 製品の分解や改造は絶対に行わない（電気製品以外） 製品が破損しけがをしたり、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。
禁止 給水・洗浄配管、ウォーターダスターホースに無理な力を加えたり、傷をつけたりしない 配管等の破損により、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。	必ず実行 凍結のおそれがあるときは、凍結防止を行う 凍結破損でケガをしたり、漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。
必ず実行 露が発生した場合、乾いた布で拭き取る 梅雨時や冬の暖房時、便器・給水管・止水栓などの表面に結露が発生することがあります。その水滴が床に滴下し染みを作ったり、床を腐らせる原因になることがあります。	必ず実行 便器から飛び出した小便、お掃除のときに床に落ちた洗剤や水はよく絞ったぞうきんで拭き取る 染みを作ったり、床を腐らせる原因になることがあります。
必ず実行 長期不在な場合は、コントロールボックスおよびウォーターダスターの水を抜く 故障したとき、漏水し家財などをぬらす原因になることがあります。	必ず実行 外出時、夜間は必ず止水栓を閉める コントロールボックスが止水不良を起こしたとき、便槽があふれ家財などをぬらす原因になることがあります。

1

各部のなまえ



2

ご使用前の確認と注意

■コントロールボックス (押しボタン)

ボタンを操作して、2～3回洗浄水を流し、製品および配管接続部などに漏水がないことを確認してください。

■ウォーターダスター

ウォーターダスター水量調整ハンドルを開栓し、2～3回引き金を引いて、製品および配管接続部などに漏水がないことを確認してください。

もし漏水があれば止水栓を閉めて、販売店・施工店に連絡してください。

3

ご使用方法

■コントロールボックス (押しボタン)

ボタンを押してください。洗浄水が流れます。
一度で流れにくい場合は、2～3回押してください。(長押しはしないでください)

※長押しすると漏水の原因になることがあります。

効果的に洗浄するには、汚物の付着が少なくなるよう、以下の手順を推奨します。

- 押しボタンを押し、便器内を濡してから使用する。
- トイレットペーパーを便皿の上に置いてから使用する。

■ウォーターダスター

便器内が部分的に汚れた場合や便皿・洗浄パイプ部洗浄時にご使用ください。
水勢が強すぎる場合は、ウォーターダスター水量調整ハンドルで水量調節してください。

※ご使用後は必ずウォーターダスター水量調整ハンドルを閉めてください。漏水のため家財などをぬらす原因になることがあります。

- 立って小便すると便器外へ跳ねる場合があります。
座って小便をすることで、跳ね返りを軽減することができます。
- 長期間使用しない場合は止水栓を閉めてください。
万が一コントロールボックスやウオーターダスターが故障した場合でも漏水が起きません。
- 小さなお子様やお年寄り、身体の不自由な方が使用される場合は取りあつかいなどについて十分に注意してください。
操作を誤り、故障やけがをするおそれがあります。また、お年寄りや身体の不自由な方がご使用される場合、安全のため、手すりを設けて頂くことをおすすめします。
- 定期的に配管周りが漏水していないことを確認してください。
早期に発見されると家財をぬらすなど財産損害の発生を最小限にすることができます。
- 必要以上に水を流さないでください。
便器から排出された洗浄水は便槽に溜まります。必要以上の洗浄水排出は汲み取り量を増やします。
- ご使用後に、押しボタン操作後、洗浄水が止まったことを確認してから退室してください。
止水不良が起きた場合、便槽があふれ家財などをぬらす原因になることがあります。

お手入れの際は1～2ページ「安全上のご注意」をよく読んで、安全に正しくお手入れをしてください。

製品の機能や性能を保つために、清掃や消耗部品交換など、日ごろから適切な維持管理を行ってください。

△ 注 意



禁止

薬品で拭いたり、かけたりしない

酸性、アルカリ性、塩素系、フッ素入り等の住居用洗剤および漂白剤、シンナー、ベンジン、アセトン、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類、クレンザーや磨き粉、金属やナイロン、木製などの硬いたわしやブラシ、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を使用しないでください。陶器に傷がついたり、手洗い吐水部や排水金具などの樹脂製品、止水栓、洗浄ハンドルなどのめっき部品などが変形、変色、ひび割れ（ケミカルクラック）するおそれがあります。



必ず実行

トイレ用洗剤は早めに洗い流し、換気する

便器内の清掃にトイレ用洗剤（酸性、アルカリ性、塩素系洗剤）及び消毒剤などを使用するときは、早め（3分以内）に洗い流した後、便座、便ふたは開けたままにしてください。また便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。（トイレ用洗剤などの気化ガスが温水洗浄便座などの本体内に入ると、腐食、故障の原因になります。）

※便座のお手入れは別途、便座の取扱説明書をご確認ください。

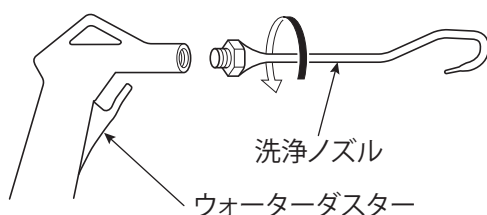
〈便器の手入れ（陶器部）〉

- 軽い汚れの場合は、スポンジ、柔らかいブラシでやさしくこすり取った後、水洗いをしてください。
- 汚れがひどい場合は、スポンジ、柔らかいブラシなどにトイレ用中性洗剤をつけて、汚れをやさしくこすり取ったら、最後に水洗いをしてください。
- 便器と便座の隙間に入り溜まった小便などは、こまめに拭きとってください。暖房便座・温水洗浄便座の電装基盤の故障やトイレ床の染みや腐食の原因になることがあります。

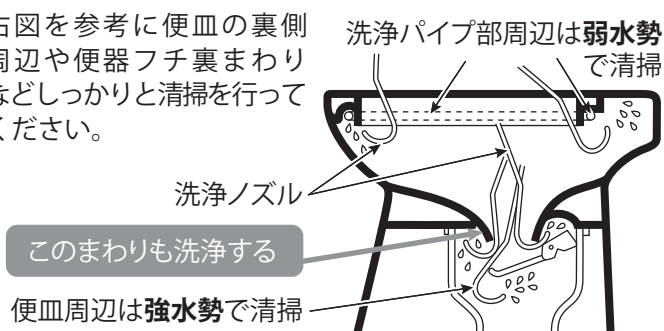
〈便器の手入れ（便皿および洗浄パイプ部周辺）〉

- ウォータースターに洗浄ノズル（入付品）を取付け、以下の手順で清掃を行ってください。

- ①ウォータースターに洗浄ノズルを手でねじ込む。



- ②右図を参考に便皿の裏側周辺や便器フチ裏まわりなどしっかりと清掃を行ってください。



※便皿の裏面に汚物などが付着すると便皿に水が溜まらなくなり室内に臭気が上がることがあります。

※洗浄パイプ部は小便の飛び散りなどで汚れが蓄積すると洗浄水の流れが悪くなり洗浄効果が落ちます。

〈コントロールボックス、ウォーターダスターのお手入れ（樹脂部）〉

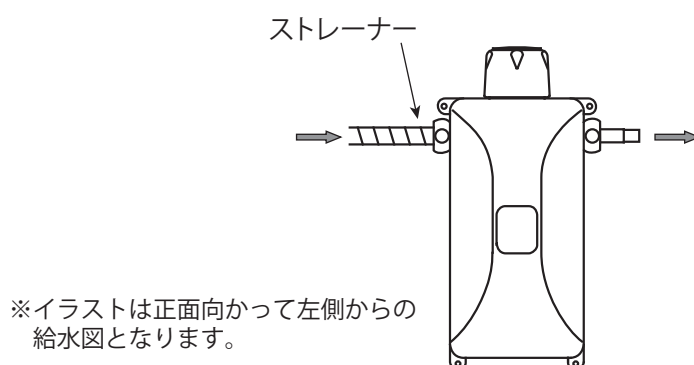
- 水でぬらした柔らかい布をよく絞ってから、拭いてください。
- 汚れがひどいときは台所用中性洗剤を100倍程度に薄めて柔らかい布に含ませ、拭きとります。そのあとは必ず水でぬらした柔らかい布をよく絞ってから、拭いてください。

〈止水栓のお手入れ（めっき部）〉

- 柔らかい布でから拭きしてください。

6 ストレーナー（フィルター）の清掃方法

- ①止水栓を閉めてください。
- ②給水配管（金属管）のナットをゆるめて、ストレーナー（ゴムパッキン一体型）を取り出し清掃してください。
- ③清掃後は②の逆の手順で組み立てし、止水栓を開いてください。



7 凍結防止について

凍結すると給水パイプ・ウォーターダスターや便器本体が破損し、漏水事故をおこすことがあります。凍結のおそれのある地域は、次の方法を実施して凍結防止をおこなってください。

■方法1 室内暖房方式

暖房器具でトイレ内を0℃以上に暖房します

※暖房器具は、便器・便座・コントロールボックス・ウォーターダスターに近づけすぎないでください。火災や漏水の原因になる場合があります。

■方法2 通水部（コントロールボックス、給水配管部）、ウォーターダスターの凍結防止方法

●コントロールボックス WB103H（寒冷地用）を使用する

設置後に凍結の可能性がある場合、販売店・施工店へご相談ください。

※凍結防止ヒーターを内蔵しております。室温が5℃以下になると自動的に通電し、ヒーターがフラッシュバルブ部を暖め凍結を防止します。（使用限界室温：-5℃）

※凍結のおそれがある時期は、必ずヒーター用差し込みプラグを差し込んでください。

※凍結のおそれがなくなったら、必ずヒーター用差し込みプラグを抜いてください。火災の原因になる場合があります。

●水道凍結防止帯などを使用する

製品の取扱説明書・施工説明書に従って正しく施工し、安全に使用してください。

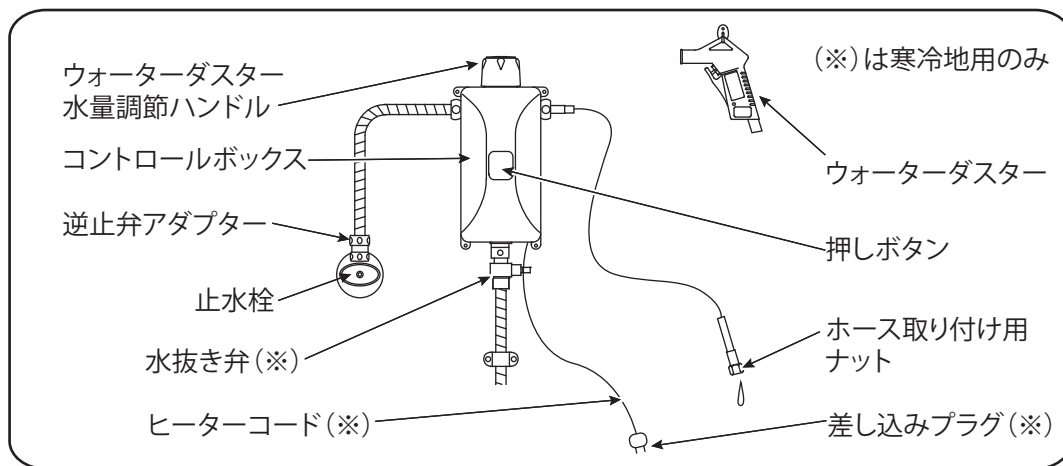
※ウォーターダスターのホースは耐熱ホースではありません。巻き付けはおやめください。

●コントロールボックスとウォーターダスターの水抜きを行う

※コントロールボックス（寒冷地用）を使用している場合、あらかじめヒーター差し込みプラグを抜いてから作業をしてください

※一般地用の場合は、しっかり水抜きが出来ない場合がありますので、暖房器具での暖房併用をおすすめします。

- ①止水栓を **全開** する。
- ②ウォーターダスター水量調節ハンドルを **全開** し、ウォーターダスターのホース取り付け用ナットを工具で緩め取りはずして、ウォーターダスターからホースをはずし、ホース内の水を抜く。
※バケツなどで水を受けてください。
- ③水抜き弁を **全開** する。 ※一般地用には水抜き弁はありません
- ④押しボタンを洗淨パイプ部から水が流れなくなるまで押し、コントロールボックス内の水を抜く。
- ⑤水抜き後は、水抜き弁（寒冷地用の場合）とウォーターダスター水量調節ハンドルを **全開** してください。



8

故障かな？と思ったら

故障かなと思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

現 象	原 因	処置の方法
押しボタンを押しても水が出ない	止水栓が閉まっている。	止水栓を開く。
	ストレーナー（フィルター）にごみが詰まっている。	「ストレーナー（フィルター）の清掃方法」に従って掃除をしてください。（6ページ参照） 掃除されても改善されない場合は、修理をご依頼ください。
押しボタンを離しても水が止まらない	フラッシュバルブ内部の不具合 ・内部にごみが詰まっている ・弁棒の作動不良・ゴム部品の劣化 など	修理をご依頼ください。
ウォーターダスターが止水できない	ウォーターダスター内部にごみが詰まっている。	修理をご依頼ください。
	凍結、経年劣化などによる部品故障	修理（新品部品への交換）をご依頼ください。
止水栓を全開にしても水量が少なく、勢いが弱い	給水配管内にごみが詰まっている。	修理をご依頼ください。
	ストレーナー（フィルター）にごみが詰まっている。	「ストレーナー（フィルター）の清掃方法」に従って掃除をしてください。（6ページ参照） 掃除されても改善されない場合は、修理をご依頼ください。
便皿が開きにくい	排便管内に物が詰まっている。	詰まった物を取り除いてください。
	便槽が満タンになっている。	汲み取り業者へご依頼ください。
便皿が開いたままである	便皿の裏面に汚物が付着している。	洗淨ノズルで汚物を洗い落としてください。
	臭突管ベンチレーター（電動ファン）の影響が考えられる。	販売店・施工店へお問い合わせください。 ※弊社製品との併用は推奨しておりません
床がぬれる	便器、ウォーターダスター、給水管の表面に結露が生じ、床に垂れる。	こまめに拭きとり、トイレの換気をしてください。
	小便が便器を伝い、床に垂れる。	床を拭きしばらく様子を見てください。 改善されない場合は、修理をご依頼ください。
	床フランジの取付不良	修理をご依頼ください。
	陶器の破損	
洗淨時もしくは洗淨後、エアが抜けるような音がする	コントロールボックス内部品の構造上、通水時に発生する音	音が発生することがありますが、製品の異常ではありません。

9

仕 様

< 便 器 >

		AF50
重 量		約21Kg
材 質	便器本体	陶器
	防臭機構	A B S
防 臭 方 式		オートフラッパー方式
洗淨操作方式		フラッシュバルブ式
使 用 水 量		約150cc/回(約1秒)※0.2MPa時

<コントロールボックス>

WB103 (一般地仕様)	
WB103H (寒冷地仕様)	
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	8.6W

※使用限界室温：－5℃

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

保 証 書

ニューレット

保証期間	品 番	期 間（据付け引渡し後）
		1 年 間
据付け引渡し日	年 月 日	
お客様	ご住所： お名前：	電話：
販売店 または 取付店	住所： 店名：	電話：

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無を確認ください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店または取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお申し付けください。
(ロ) 出張修理に際しては本書をご提示ください。
- 保証期間内でも、次の場合には原則として有料修理になります。
(イ) 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障および損傷。
(ロ) 正しい施工がされなかった時。
(ハ) お取付後の移設、輸送、落下等に起因する故障および損傷。
(ニ) 車輛・船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷。
(ホ) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
(ヘ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化水素ガス等）、煤煙、砂塵、金属粉、凍結、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障および損傷。
(ト) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
(チ) 表面仕上げまたは消耗品類（電球）の経年劣化や使用に伴う汚れ、摩耗劣化、さび、カビ等による変質、変色等の不具合。
(リ) 通常のお手入れ不足による不具合および使用禁止薬剤の使用等適切な維持管理がなされなかった場合。
(ヌ) 指定以外の水質（水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水）の給水時における異物の詰まりなどによる故障および損傷。
(ル) 砂やゴミを嚙んだり、水あかが固着したことによる不具合。
(ヲ) 一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障および損傷。
(ワ) 自然環境や住環境に起因する結露、染み出し、カビ等の現象。
(カ) 他社製品に起因する故障および損傷
(ヨ) 本書のご提示が無い場合。
(タ) 本書にお引渡し年月日、お客様名、販売店または取付店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様サービスセンター
にお問い合わせください。



アサヒ衛陶株式会社

〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町1丁目3-8
中央大通FNビル10F

アフターサービスについて

保証書と保証期間について

保証書は、販売店又は取付店で所定事項を記入のうえ、お渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、据付け引渡し日から1年間です。

保証期間内でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

補修用性能部品の保有年数について

ニューレットの補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後10年です。なお、補修用性能部品の保有期間内であっても、商品によっては代替品にて対応させていただくこともありますのでご了承ください。

部品の交換について

無償修理により交換された部品・製品は、アサヒ衛陶(株)の所有となります。

修理を依頼されるときは

もう一度、説明書をよくお読みいただき、それでもなお異常のある時はお買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。

※修理に際しては保証書が必要となります。保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

●連絡していただきたい内容

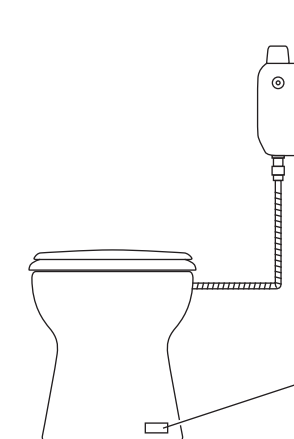
①住所、氏名、電話番号

②商品名

③品番

例) C46

※ 便器、タンクとも正面から
右手側面に表示



品番シール
(正面から見て右側面)

④据付け引渡し日が記載された
保証書の有無

⑤故障内容、異常の状況
出来るだけ詳しくご説明ください。

保証期間が過ぎているときは

修理をすることで使用できる商品については、ご希望により有償で修理をさせていただきます。

※修理代金

技術料 + **部品代** + **出張料** で構成されています。

●商品のお問い合わせ・修理のご相談

全国でアフターサービスの対応を行っております。商品に不具合が生じた場合は、商品品番をお確かめの上、お客様サービスセンターまでご連絡ください。
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始・弊社所定の休日等を除く)

06-7777-2067

▶ 音声ガイダンス【1番】へご連絡ください。

インターネットからも修理のお申し込みが可能です。
アサヒ衛陶Webサイト
<https://www.asahieito.co.jp/>



アサヒ衛陶株式会社

21.07T